masuda funai

News & Types: News

佐藤嵩一郎弁護士が、Law.comによるインタビューで日米間の法的環境の違いについてコメントしました。

9/4/2026

By: 佐藤 嵩一郎

Practices: 商事／競争／取引, 訴訟

佐藤嵩一郎弁護士が、Law.comのインタビューに応じ、変化し続ける日米のビジネス環境やクロスボーダー案件の代理業務に欠かせない法的および文化的考慮事項についてコメントしました。日本で弁護士として執務した経験を有し、今現在米国で執務する自らの経験をもとに、多文化的視点と日米両国の法制度に関する知識が、法域をまたぐ複雑なトランザクション、紛争、運営問題においてクライアントを代理する上でどのように役立っているかについて語りました。また、クライアントの期待、訴訟戦略、証拠開示手続（ディスカバリ）、ビジネス上の意思決定を含め、日米間の法制度における主要な相違点についても言及しました。

本インタビュー記事（英語記事）は以下のリンクからご覧いただけます。

Kon'nichiwa: U.S. Lawyers Are Gaining a Foothold in Japan

【主なトピック】米国の弁護士がクライアントである日本企業との関係をどのように構築し維持しているか、またクロスボーダー案件の代理業務を成功させる上で、文化的理解が果たす役割について

Rude Awakening: 'Invasive' US Legal System Shocks Japanese GCs, Execs—Who Law Firms Increasingly Court

【主なトピック】日本企業が米国で訴訟案件に対応する際に直面しがちな課題、および日米間の法制度の主な相違点について

増田・舟井法律事務所は、米国でビジネスを展開する日本企業の代理を主な業務とする総合法律事務所です。

当事務所は、シカゴ、デトロイト、ロサンゼルス、およびシャンバーグに拠点を有しています。